

Ⅷ. 供給の概況

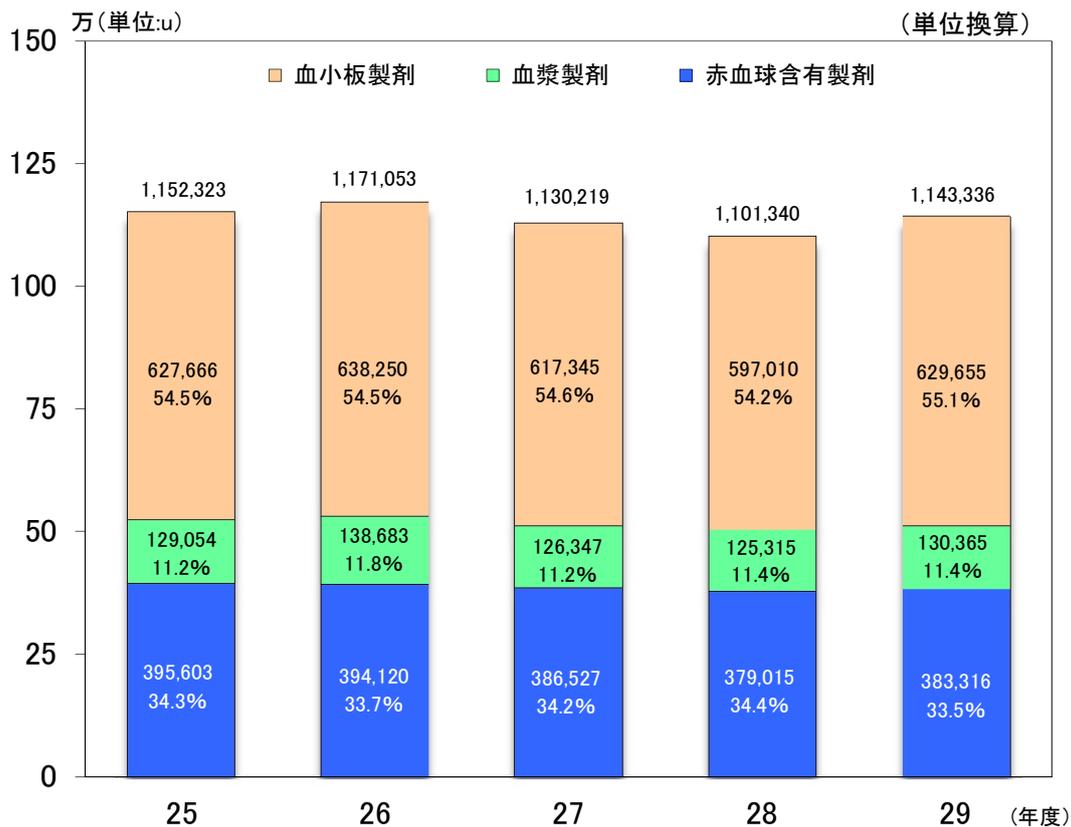
Outline of Supply

1. 供給の推移

Yearly Number of Supply

(1) 血液製剤供給状況の推移

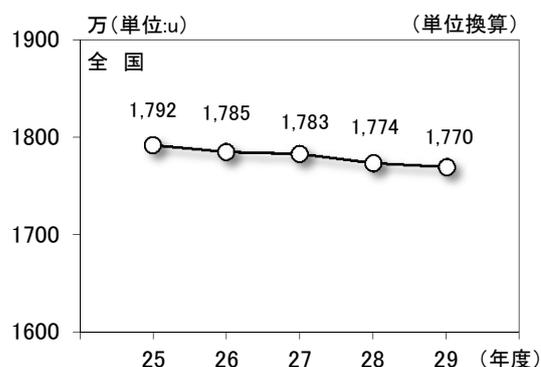
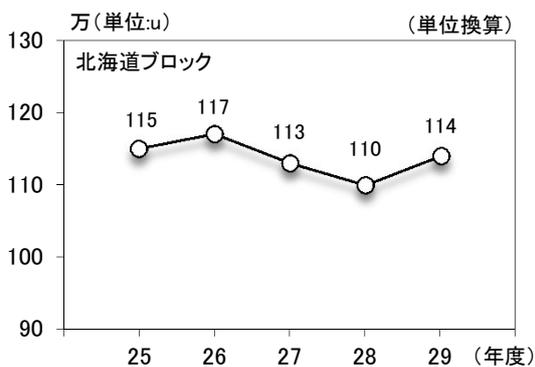
Yearly Number of Blood Components Supplied



※ 血漿製剤の単位換算は、FFP-LR120を1単位、FFP-LR240を2単位、FFP-LR480を4単位としていること。

(2) 管内供給数推移

Yearly Number of Blood Components Supplied within the Block



2. 供給の実績

Number of Blood Components Supplied

(1) センター別・血液製剤供給実績

Number of Blood Components Supplied Classified by Center

血液製剤別供給状況

Number of Blood Components Supplied

(単位:バッグ)

血液製剤			センター名		北海道	旭川	釧路	函館	合計
			照射	未照射					
赤 血 球 製 剤	赤 血 球 製 剤	1単位	照射		7,338	1,286	453	552	9,629
			未照射		313	0	0	0	313
		2単位	照射		97,277	28,815	20,939	16,845	163,876
			未照射		17,423	4,492	2	894	22,811
		計	照射		104,615	30,101	21,392	17,397	173,505
			未照射		17,736	4,492	2	894	23,124
	換算計(単位:u)				237,051	67,900	42,335	36,030	383,316
	全 血 製 剤	1単位	照射		0	0	0	0	0
			未照射		0	0	0	0	0
		2単位	照射		0	0	0	0	0
			未照射		0	0	0	0	0
		計	照射		0	0	0	0	0
			未照射		0	0	0	0	0
	換算計(単位:u)				0	0	0	0	0
血 漿 製 剤	1単位	未照射		920	268	20	33	1,241	
	2単位	未照射		33,029	8,999	5,780	2,654	50,462	
	4単位	未照射		4,814	861	524	851	7,050	
	計	未照射		38,763	10,128	6,324	3,538	58,753	
	換算計(単位:u)				86,234	21,710	13,676	8,745	130,365
血 小 板 製 剤	1単位	照射		0	0	0	0	0	
	2単位	照射		0	0	0	0	0	
	5単位	照射		626	87	20	4	737	
	10単位	照射		11,609	1,183	1,012	1,057	14,861	
	15単位	照射		3,944	826	942	1,004	6,716	
	20単位	照射		10,214	4,416	1,234	2,967	18,831	
	計	照射		26,393	6,512	3,208	5,032	41,145	
	換算計(単位:u)				382,660	112,975	49,030	84,990	629,655
換算合計(単位:u)					705,945	202,585	105,041	129,765	1,143,336
センター別供給割合					61.8%	17.7%	9.2%	11.3%	100%

(2) 月別製剤別供給数

Monthly Number of Blood Components Supplied

(単位:u)

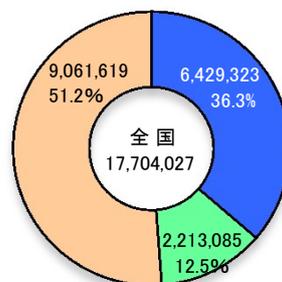
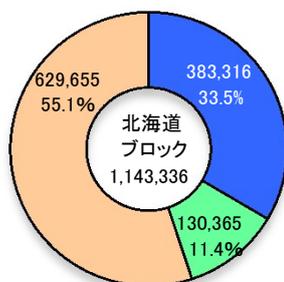
製剤種別		月												合計
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
赤血球含有製剤	赤血球製剤	30,610	33,341	31,993	32,107	32,500	29,628	32,966	32,810	32,531	32,361	30,153	32,316	383,316
	全血製剤	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	小計	30,610	33,341	31,993	32,107	32,500	29,628	32,966	32,810	32,531	32,361	30,153	32,316	383,316
血漿製剤		10,288	13,284	10,582	11,094	10,536	10,004	11,034	10,991	11,058	11,600	9,522	10,372	130,365
血小板製剤		48,375	51,105	52,665	51,725	53,720	50,280	52,795	54,360	54,950	54,875	50,545	54,260	629,655
合計		89,273	97,730	95,240	94,926	96,756	89,912	96,795	98,161	98,539	98,836	90,220	96,948	1,143,336

製剤種別供給比率

Rate of Blood Components Supplied

赤血球含有製剤 血漿製剤 血小板製剤

単位:u



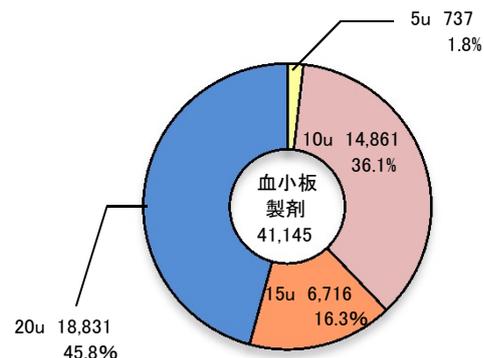
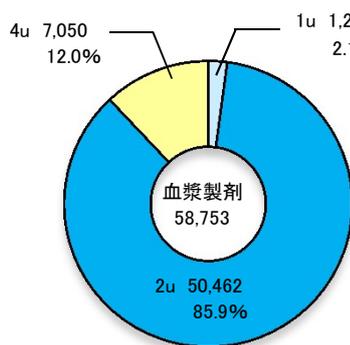
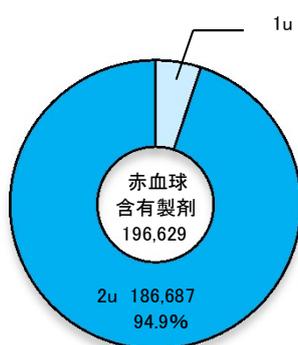
製剤種別規格別供給比率

Rate of Blood Components Supplied Classified by Unit

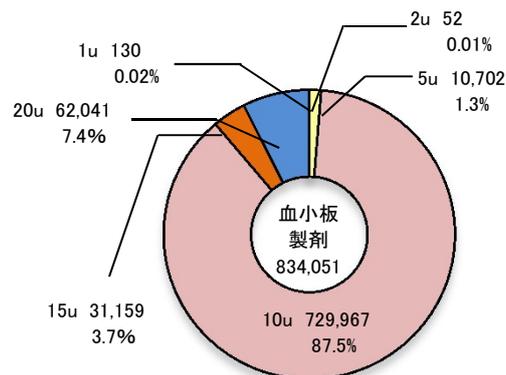
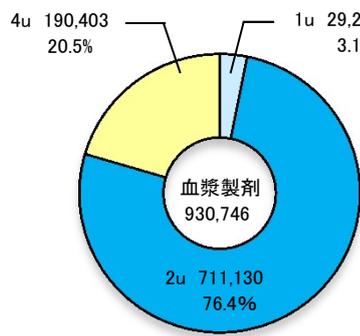
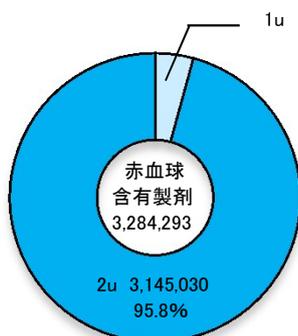
1u 2u 5u(血漿製剤は、4u) 10u 15u 20u

単位:パック

北海道ブロック



全国

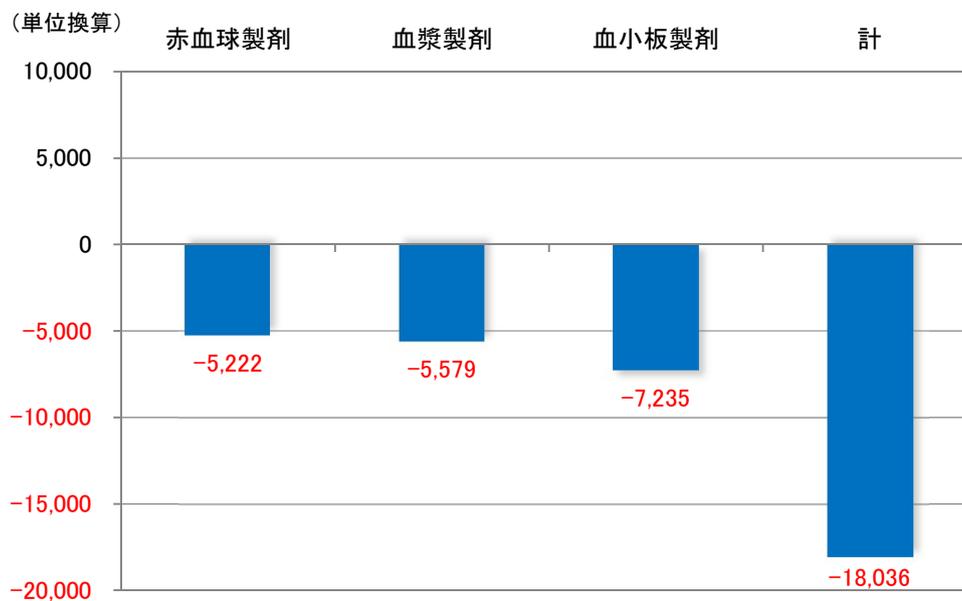


3. 需給調整状況

Supply and Demand

道外センターとの需給調整

Supply and Demand with Other Blocks



(受入)

(単位:u)

	A	O	B	AB	計
赤血球製剤	3,625	1,664	1,568	1,405	8,262
血漿製剤	2,606	2,638	468	922	6,634
血小板製剤	2,470	2,825	1,960	780	8,035
計	8,701	7,127	3,996	3,107	22,931

(払出)

	A	O	B	AB	計
赤血球製剤	984	948	432	676	3,040
血漿製剤	412	84	457	102	1,055
血小板製剤	180	170	95	355	800
計	1,576	1,202	984	1,133	4,895

(受払)

	A	O	B	AB	計
赤血球製剤	-2,641	-716	-1,136	-729	-5,222
血漿製剤	-2,194	-2,554	-11	-820	-5,579
血小板製剤	-2,290	-2,655	-1,865	-425	-7,235
計	-7,125	-5,925	-3,012	-1,974	-18,036

4. 血液製剤有効利用状況

Efficient Utilization of Blood Components

製品有効利用率

Efficient Utilization of Blood Components

(単位:u)

製剤種別 項目	赤血球含有製剤			血漿製剤*	血小板製剤*	合計
	赤血球製剤	全血製剤*	計			
製品数	381,221	0	381,221	135,597	645,485	1,162,303
製品後減損数	880	0	880	1,215	9,220	11,315
製品有効利用率 (%)	99.8%	0.0%	99.8%	99.1%	98.6%	99.0%

* この製剤の減損は、アルブミン・グロブリン製剤等の原料として利用される。

5. 医薬情報活動の状況

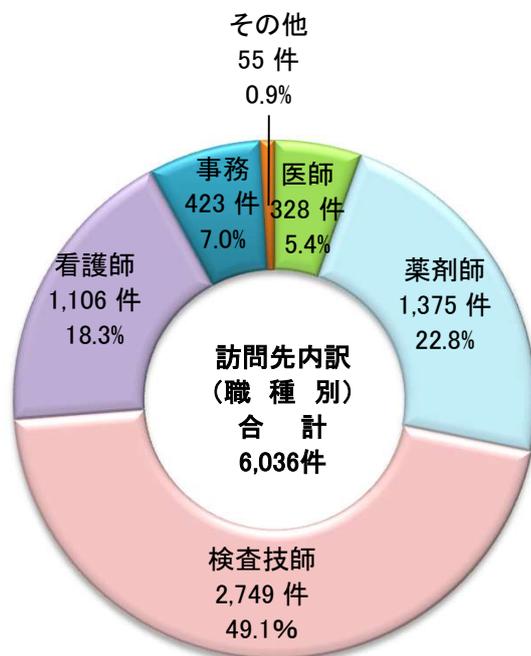
Information Service about Blood Products

(1) MR活動状況

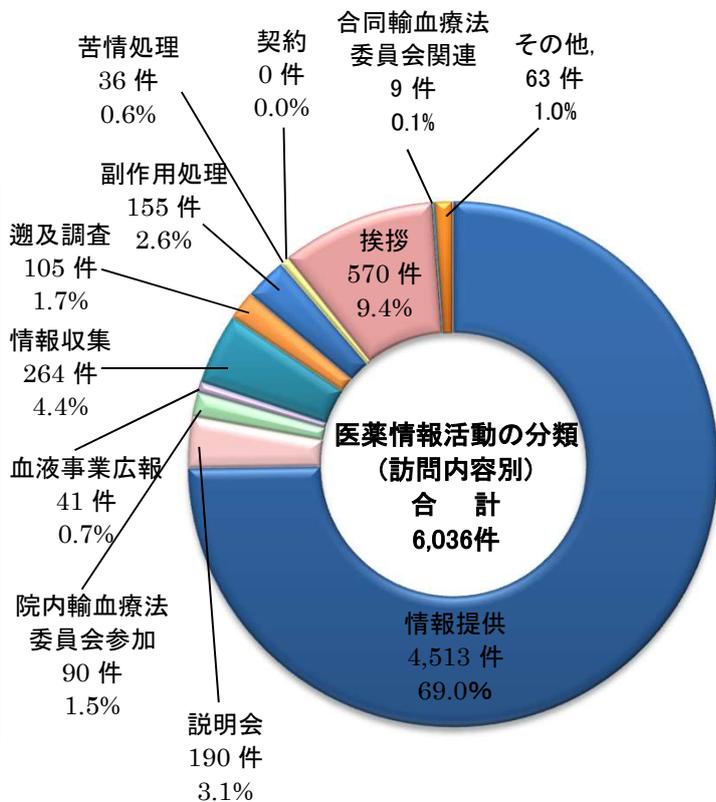
MR(Medical Representatives) Activities

訪問医療機関数(延べ)	3,816
-------------	-------

訪問先内訳	医師	328
	薬剤師	1,375
	検査技師	2,749
	看護師	1,106
	事務	423
	その他	55
	合計	6,036



医薬情報活動の分類	情報提供	4,513
	説明会	190
	院内輸血療法委員会参加	90
	血液事業広報	41
	情報収集	264
	遡及調査	105
	副作用処理	155
	苦情処理	36
	契約	0
	挨拶	570
	合同輸血療法委員会関連	9
	その他	63
	合計	6,036



(2) 講演会、研究会等

Lectures, Research Meetings and Others

開催日	名称	場所	参加者数
平成29年 4月 5日	輸血療法委員会 (誤った患者への輸血と不規則抗体スクリーニングの検査法)	斜里町国保病院	10名
5日	院内説明会 (血液製剤の取り扱い方(特に血小板製剤の使用方法))	わたなべ透析内科	10名
10日	院内説明会 (血液製剤の取り扱い方および輸血副作用)	大川原脳神経外科病院	73名
11日	院内説明会 (輸血用血液製剤の取り扱いと副作用)	手稲八木整形外科	68名
11日	輸血療法委員会 (誤った患者への輸血と不規則抗体スクリーニングの検査法)	豊岡中央病院	5名
12日	院内説明会 (輸血用血液製剤の取り扱いと副作用)	恵庭南病院	62名
12日	院内説明会 (輸血の注意点)	深川市立病院	13名
17日	輸血療法委員会 (輸血過誤)	旭川赤十字病院	13名
18日	院内説明会 (輸血用血液製剤の取り扱い)	札幌南一条病院	49名
19日	院内説明会 (輸血用血液製剤の取り扱いと副作用)	恵庭南病院	38名
19日	院内説明会 (輸血用血液製剤の取扱い)	坂泌尿器科病院	29名
19日	院内説明会 (血液製剤取扱の注意事項)	佐藤病院	36名
19日	院内説明会 (血液製剤の取り扱い方および輸血過誤)	森病院	32名
20日	輸血療法委員会 (輸血用血液製剤取り扱いポスターおよび添付文書改訂)	函館赤十字病院	5名
21日	輸血療法委員会 (添付文書集および血液製剤取り扱いポスター改訂と不規則抗体スクリーニングの検査法)	日鋼記念病院	5名
24日	院内説明会 (輸血用血液製剤の取り扱いと輸血副作用)	新札幌整形外科病院	24名
28日	輸血療法委員会 (輸血管理料I取得状況とアルブミン一元管理)	札幌徳洲会病院	13名
平成29年 5月 2日	院内説明会 (輸血用血液製剤の取り扱いと輸血副作用)	新さっぽろ脳神経外科病院	58名
9日	院内説明会 (新人看護師向け輸血過誤事例の紹介)	手稲溪仁会病院	96名
12日	院内説明会 (輸血過誤事例と輸血副作用について)	北見赤十字病院	265名

開催日	名称	場所	参加者数
15日	輸血療法委員会 (将来需要予測アンケートについて、使用指針の改定について)	市立函館病院	11名
16日	輸血療法委員会 (将来需要調査について、北海道輸血シンポジウムについて)	勤医協中央病院	10名
16日	院内説明会 (過誤事例、輸血副作用、輸血の注意点について)	手稲ネフロクリニック	27名
17日	輸血分科会 (血液製剤ができるまで(献血から供給まで))	北海道赤十字血液センター 函館事業所	16名
18日	院内説明会 (輸血用血液製剤の取り扱い、輸血検査、過誤について)	江別病院	34名
18日	輸血療法委員会 (輸血用血液製剤取り扱いマニュアルについて、第29回北海道輸血シンポジウムの案内)	函館赤十字病院	5名
19日	輸血療法委員会 (輸血用血液製剤取り扱いマニュアル変更内容について、輸血用血液製剤と薬剤の混注について)	北見赤十字病院	7名
20日	集合型研修会 (過誤事例、輸血の現場から伝えたいこと、学会認定・臨床輸血看護師制度について)	北海道赤十字血液センター	187名
23日	院内説明会 (輸血用血液製剤の取り扱い、輸血過誤、不規則抗体)	北星脳神経・心血管内科病院	37名
24日	輸血療法委員会 (北海道輸血シンポジウムについて、血液製剤の使用指針ポケット版について)	札幌北楡病院	10名
24日	小樽地区技師会勉強会 (道内輸血後ウイルス感染症と血液製剤使用指針改定版)	小樽市立病院	38名
25日	輸血療法委員会 (輸血情報146(TACOにご注意ください)の解説)	市立稚内病院	10名
25日	院内説明会 (輸血用血液製剤の取扱い)	清水赤十字病院	16名
26日	十勝管内輸血医療懇談会 (血液製剤の使用指針全面改定のポイント)	帯広厚生病院	34名
31日	院内説明会 (輸血の注意点)	吉田病院	43名
平成29年 6月 1日	輸血検査寺子屋:地方版 (さあ困った!こんなときどうする? ABO血液型編と交差適合試験編)	広域紋別病院	13名
7日	院内説明会 (過誤事例から学ぶ安全な輸血)	札幌心臓血管クリニック	76名
7日	院内説明会 (血液製剤の取り扱い方および輸血過誤の防止)	八雲総合病院	58名
9日	院内説明会 (血液製剤の取り扱い方および輸血過誤の防止)	洞爺温泉病院	87名
13日	輸血療法委員会 (輸血用血液製剤取り扱いマニュアル変更内容。輸血用血液製剤と薬剤の混注。)	豊岡中央病院	5名

開催日	名称	場所	参加者数
14日	輸血療法委員会 (TRALIとTACOの違いについて)	旭川医科大学病院	20名
14日	院内説明会 (きちんと知ろう輸血のこと(過誤事例、輸血副作用、輸血の注意点))	北海道大野病院	78名
20日	輸血療法委員会 (血液製剤の使用指針の改定について)	勤医協中央病院	8名
20日	院内説明会 (きちんと知ろう輸血のこと)	えりも町国保診療所	8名
20日	院内説明会 (血液製剤の取り扱い方および輸血過誤の防止)	伊達赤十字病院	164名
21日	輸血療法委員会 (血液製剤の使用指針の改定について、血液製剤取り扱いマニュアル改訂)	室蘭総合病院	8名
22日	院内説明会 (みんなで学ぼう！輸血のこと(血液製剤の取り扱いと副作用について))	篠路病院	82名
23日	院内説明会 (ABO血液型間違いに注意、輸血用血液製剤の取り扱い、輸血副作用)	市立旭川病院	9名
27日	院内説明会 (血液製剤の取り扱い方および輸血後感染症)	函館中央病院	37名
28日	院内説明会 (輸血用血液製剤の取扱い)	摩周厚生病院	19名
28日	院内説明会 (輸血の注意点)	留萌市立病院	60名
28日	院内説明会 (輸血用血液製剤の取り扱い、輸血後感染症について、輸血過誤防止について)	斜里町国保病院	32名
28日	輸血分科会 (血液製剤の使用指針の改定のポイント)	北海道赤十字血液センター 函館事業所	22名
29日	院内説明会 (安全で適正な輸血のために)	釧路赤十字病院	40名
29日	院内説明会 (みんなで学ぼう！輸血のこと(血液製剤の取り扱いと副作用について))	篠路病院	53名
29日	院内説明会 (輸血用血液製剤の取扱、輸血後感染症、輸血過誤防止、不規則抗体)	小清水赤十字病院	29名
30日	院内説明会 (輸血用血液製剤の取扱いと最近の話題)	市立根室病院	33名
平成29年 7月 3日	院内説明会 (きちんと知ろう輸血のこと)	石井病院	31名
4日	輸血療法委員会 (血液製剤の使用指針の改定および血液製剤一覧(2017年5月)改訂)	江差病院	6名

開催日	名称	場所	参加者数
10日	院内説明会 (輸血過誤や輸血副作用、輸血用血液製剤の取り扱い)	札幌立花病院	64名
12日	看護師向け集合型説明会 (輸血用血液製剤の取り扱い、輸血過誤防止、輸血副作用)	広域紋別病院	45名
12日	院内説明会 (血液製剤の取り扱い方および不規則抗体)	函館おしま病院	24名
13日	院内説明会 (輸血用血液製剤の基礎知識と取り扱い)	時計台記念病院	71名
13日	院内説明会 (輸血過誤(異型輸血編))	北海道中央労災病院 せき損センター	50名
13日	院内説明会 (輸血用血液製剤の取り扱い、輸血過誤防止、輸血副作用)	遠軽厚生病院	14名
13日	院内説明会 (血液製剤の取り扱い方および輸血過誤)	函館中央病院	68名
13日	集合型説明会 (基礎から入る輸血検査の寺子屋)	北海道赤十字血液センター 釧路事業所	71名
14日	集合型説明会 (基礎から入る輸血検査の寺子屋)	北海道赤十字血液センター 釧路事業所	33名
18日	輸血療法委員会 (血液製剤の使用指針の改定(ALB))	勤医協中央病院	7名
18日	輸血療法委員会 (血液製剤の使用指針の改定について)	士別市立病院	7名
18日	輸血療法委員会 (血液製剤の使用指針の改定について)	市立旭川病院	9名
18日	院内説明会 (輸血用血液製剤の取り扱いと輸血副作用)	北海道医療センター	66名
18日	院内説明会 (WEB受注について)	ななえ新病院	4名
19日	院内説明会 (輸血用血液製剤と輸血の安全対策)	自衛隊札幌病院	12名
19日	院内説明会 (輸血用血液製剤の取り扱い、輸血検査、過誤)	札幌ライラック病院	50名
20日	集合型説明会 (輸血検査の寺子屋)	留萌市立病院	12名
20日	院内説明会 (血液製剤の取り扱い方および輸血過誤)	亀田病院	148名
21日	輸血療法委員会 (血液製剤の使用指針の改定)	北見赤十字病院	8名
24日	輸血療法委員会 (血液製剤の使用指針の改定について)	旭川医療センター	10名

開催日	名称	場所	参加者数
24日	院内説明会 (輸血過誤防止、不規則抗体)	豊岡中央病院	49名
25日	輸血療法委員会 (血液製剤の使用指針の改定について)	網走厚生病院	7名
26日	輸血療法委員会 (輸血手技のトラブル事例)	浜頓別町国保病院	6名
26日	院内説明会 (安全な輸血医療の基礎知識)	本別町国保病院	17名
27日	輸血療法委員会 (非溶血性副作用)	市立稚内病院	11名
27日	院内説明会 (輸血用血液製剤の取り扱いと輸血副作用)	石川泌尿器科	19名
31日	院内説明会 (輸血用血液製剤の取り扱い、輸血過誤防止、輸血副作用)	沼崎病院	31名
31日	院内説明会 (輸血過誤、輸血副作用、輸血用血液製剤の取り扱い)	王子総合病院	107名
平成29年 8月 1日	院内説明会 (輸血手技・取り扱いの注意点)	岩見沢脳神経外科	22名
2日	輸血療法委員会 (血液製剤の使用指針の改定)	斜里町国保病院	9名
2日	院内説明会 (輸血用血液製剤の取り扱いと輸血副作用)	札幌緑誠病院	57名
3日	院内説明会 (輸血用血液製剤の取り扱いと輸血副作用、北海道輸血シンポジウムの話題)	札幌南青洲病院	32名
4日	院内説明会 (輸血用血液製剤の取り扱い、輸血過誤防止、輸血副作用)	大西病院	19名
8日	院内説明会 (輸血用血液製剤の取り扱いと輸血療法実施に関する指針)	手稲ネフロクリニック	26名
8日	看護師集合型説明会 (輸血のお問い合わせに答えます)	北海道赤十字血液センター 旭川事業所	23名
9日	院内説明会 (輸血用血液製剤の基礎知識と取り扱い)	札幌徳洲会病院	43名
10日	道央地区検査技師会集合型研修会 (血液型きちんとできるかな)	王子総合病院	8名
10日	院内説明会 (輸血用血液製剤の基礎知識と取り扱い)	川西内科胃腸科病院	20名
14日	輸血療法委員会 (血液製剤の使用指針の改定)	豊岡中央病院	7名
14日	院内説明会 (輸血用血液製剤の基礎知識と取り扱い)	札幌東徳洲会病院	42名

開催日	名称	場所	参加者数
15日	輸血療法委員会 (2016年輸血副作用)	勤医協中央病院	8名
15日	輸血療法委員会 (IgA欠損患者における急性大動脈解離手術に向けた輸血の対応)	旭川赤十字病院	14名
16日	輸血療法委員会 (血液製剤の使用指針改定)	旭川医科大学病院	22名
16日	輸血療法委員会 (2016年輸血副作用)	市立室蘭総合病院	9名
17日	輸血療法委員会 (2016年輸血副作用)	函館赤十字病院	4名
17日	院内説明会 (輸血のお問い合わせに答えます)	北海道赤十字血液センター 旭川事業所	23名
21日	輸血療法委員会 (血液製剤の使用指針改定)	旭川赤十字病院	12名
21日	院内説明会 (輸血用血液製剤の取り扱いと輸血副作用)	西岡病院	21名
21日	院内説明会 (輸血用血液製剤の取り扱い)	はやし内科胃腸科小児科医院	12名
21日	院内説明会 (輸血用血液製剤の基礎知識と取り扱い)	JR札幌病院	85名
22日	院内説明会 (輸血用血液製剤の取り扱いと輸血副作用)	保坂内科クリニック	19名
22日	院内説明会 (輸血副作用と感染症)	市立稚内病院	67名
23日	院内説明会 (輸血副作用と感染症)	利尻島国保中央病院	49名
24日	院内説明会 (血液製剤の取り扱い方および輸血副作用)	えんどう桔梗マタニティクリニック	12名
24日	院内説明会 (過誤事例から学ぶ安全な輸血)	小樽市立病院	116名
24日	院内説明会 (輸血用血液製剤の取り扱い)	森産科婦人科病院	23名
24日	院内説明会 (輸血副作用と感染症)	市立稚内病院	60名
24日	院内説明会 (輸血用血液製剤の基礎知識と取り扱い)	札幌徳洲会病院	28名
25日	輸血療法委員会 (2016年輸血副作用)	日鋼記念病院	9名
29日	院内説明会 (輸血用血液製剤の取り扱い)	北見北斗病院	24名
29日	院内説明会 (血液製剤の取り扱い方および輸血副作用)	登別すずらん病院	15名

開催日	名称	場所	参加者数
	30日 院内説明会 (血液製剤の取り扱い方および輸血副作用)	登別すずらん病院	26名
	30日 院内説明会 (輸血用血液製剤の取り扱い)	紋別みなと病院	17名
	31日 院内説明会 (輸血用血液製剤の取り扱い)	北見北斗病院	13名
	31日 院内説明会 (輸血の注意点)	市立美唄病院	45名
平成29年 9月	5日 輸血療法委員会 (血液製剤の使用指針・輸血療法の実施に関する指針の改定)	道立江差病院	5名
	6日 院内説明会 (輸血用血液製剤の取り扱いと輸血副作用)	北樹会病院	32名
	6日 院内説明会 (輸血の基本)	釧路労災病院	57名
	12日 輸血療法委員会 (2016年輸血副作用)	市立旭川病院	8名
	12日 輸血検査寺小屋 (さあ困った！こんなときどうする。血液型検査 オモテウラ不一致編)	旭川赤十字病院	24名
	13日 院内説明会 (輸血用血液製剤の取り扱いと輸血副作用)	北樹会病院	29名
	14日 院内説明会 (過誤事例から学ぶ安全な輸血)	釧路中央病院	30名
	15日 輸血療法委員会 (2016年輸血副作用)	北見赤十字病院	6名
	15日 院内説明会 (血液製剤の使用指針 改定ポイントについて完結版)	帯広協会病院	26名
	19日 輸血療法委員会 (輸血情報154(感染症)、155(副作用))	士別市立病院	20名
	19日 輸血療法委員会 (指針の改定)	勤医協中央病院	9名
	19日 院内説明会 (輸血用血液製剤の取り扱いと輸血副作用)	わた内科外科クリニック	16名
	20日 輸血療法委員会 (輸血情報154(感染症)、155(副作用))	手稲溪仁会病院	25名
	20日 院内説明会 (輸血用血液製剤の取り扱いと輸血副作用)	北樹会病院	31名
	20日 輸血分科会 (血液製剤の使用指針の改定)	北海道赤十字血液センター 函館事業所	16名

開催日	名称	場所	参加者数
20日	院内説明会 (輸血手技の基礎知識と過誤事例)	栗山赤十字病院	36名
21日	輸血療法委員会 (血液製剤の使用指針の改定)	函館赤十字病院	4名
22日	輸血療法委員会 (輸血情報154(感染症)155(副作用))	旭川厚生病院	15名
25日	輸血療法委員会 (輸血情報154(感染症)155(副作用))	旭川医療センター	11名
26日	輸血療法委員会 (2016年輸血副作用)	網走厚生病院	8名
27日	輸血療法委員会 (副作用症例)	札幌北楡病院	11名
27日	院内説明会 (血液製剤の取り扱い方)	室蘭太平洋病院	36名
28日	輸血療法委員会 (クリオ製剤の製造方法)	市立稚内病院	9名
28日	院内説明会 (血液製剤の取り扱い方)	高橋病院	50名
28日	院内説明会 (輸血用血液製剤の取り扱いと輸血副作用、輸血過誤)	えにわ病院	116名
29日	院内説明会 (血液製剤の取り扱い方)	登別すずらん病院	32名
平成29年 10月 4日	輸血療法委員会 (輸血情報153、154(感染症、副作用))	斜里町国保病院	7名
4日	院内説明会 (輸血用血液製剤の取り扱いと輸血副作用)	道央病院	35名
4日	院内説明会 (輸血用血液製剤の取扱いと副作用について)	石橋胃腸病院	10名
6日	十勝管内輸血医療懇談会 (医療現場の輸血過誤事例について)	帯広市休日夜間急病センター	35名
10日	輸血検査の寺小屋 (さあ困った！こんなときどうする？不規則抗体検査のトラブル事例編)	旭川赤十字病院	25名
11日	輸血療法委員会 (輸血情報153、154(感染症、副作用))	留萌市立病院	11名
11日	院内説明会 (輸血用血液製剤の取り扱いと輸血副作用)	道央病院	18名
13日	院内説明会 (輸血用血液製剤の取り扱いと副作用について)	勤医協札幌病院	26名

開催日	名称	場所	参加者数
16日	輸血療法委員会 (IgA欠損症の概要と特殊製剤の発注について)	旭川赤十字病院	17名
16日	院内説明会 (輸血用血液製剤の取り扱い、輸血副作用)	東旭川病院	36名
17日	輸血療法委員会 (10月の勉強会について)	勤医協中央病院	9名
17日	院内説明会 (輸血手技・取り扱いの注意点)	士別市立病院	1名
18日	輸血療法委員会 (輸血情報154、155(感染症と副作用))	旭川医科大学病院	25名
18日	輸血療法委員会 (輸血用血液等の遡及調査に関するガイドライン(日赤GL)の改訂について)	室蘭総合病院	11名
18日	院内説明会 (輸血用血液製剤の取り扱いと輸血検査について)	北海道内科リウマチ科病院	48名
19日	輸血療法委員会 (輸血用血液等の遡及調査に関するガイドライン(日赤GL)の改訂について)	函館赤十字病院	4名
20日	院内説明会 (輸血の注意ポイント)	富良野協会病院	19名
25日	院内説明会 (輸血副作用と感染症)	浜頓別町国保病院	13名
25日	輸血分科会 (輸血用血液等の遡及調査に関するガイドライン(日赤GL)の改訂)	北海道赤十字血液センター 函館事業所	15名
26日	院内説明会 (輸血用血液製剤の取り扱いと輸血副作用)	静仁会静内病院	68名
27日	輸血療法委員会 (輸血用血液等の遡及調査に関するガイドライン(日赤GL)の改訂)	日鋼記念病院	14名
27日	院内説明会 (輸血用血液製剤の取り扱い方)	函館病院	29名
31日	院内説明会 (輸血のQ&A これぞ安心！)	勤医協中央病院	17名
平成29年 11月 6日	集合型看護師輸血の寺小屋 (輸血の問い合わせにお答えします)	北海道赤十字血液センター 旭川事業所	5名
7日	輸血療法委員会 (輸血用血液等の遡及調査に関するガイドライン(日赤GL)の改訂について)	道立江差病院	6名
7日	集合型看護師輸血の寺小屋 (輸血の問い合わせにお答えします)	北海道赤十字血液センター 旭川事業所	14名
8日	集合型看護師輸血の寺小屋 (輸血の問い合わせにお答えします)	北海道赤十字血液センター 旭川事業所	9名

開催日	名称	場所	参加者数
8日	院内説明会 (輸血用血液製剤の取り扱いと輸血副作用について)	札幌清田整形外科病院	56名
9日	院内説明会 (輸血の注意点と輸血後感染症検査について)	旭川高砂台病院	50名
9日	院内説明会 (血液製剤の取り扱い方および輸血副作用)	函館赤十字病院	25名
13日	輸血療法委員会 (遡及調査ガイドラインの改訂について)	士別市立病院	8名
14日	院内説明会 (血液製剤の取り扱い方)	そうべつ温泉病院	46名
14日	院内説明会 (輸血手技の注意点)	北海道療育園	51名
14日	院内説明会 (輸血用血液製剤の取り扱いと輸血副作用について)	西成病院	35名
15日	院内説明会 (輸血用血液製剤の取り扱いと輸血副作用)	恵庭第一病院	78名
21日	輸血療法委員会 (日赤GLの変更点・副作用収集方法の変更について)	勤医協中央病院	9名
22日	輸血療法委員会 (副作用調査の変更について)	札幌北楡病院	10名
22日	院内説明会 (輸血用血液製剤の取り扱い、輸血副作用)	佐久間病院	14名
22日	院内説明会 (血液製剤の取り扱い方)	白老町国保病院	26名
27日	輸血療法委員会 (遡及調査ガイドラインの改訂について、副作用調査の変更について)	旭川厚生病院	15名
28日	輸血療法委員会 (遡及調査に関するGLの改訂について、輸血副作用調査方法の変更について)	網走厚生病院	12名
29日	院内説明会 (輸血手技・手順の基礎知識のおさらい)	中頓別町国保病院	14名
30日	輸血療法委員会 (ドラツムマップの輸血検査の影響について)	市立稚内病院	10名
30日	院内説明会 (輸血用血液製剤の取り扱いと輸血副作用)	札幌緑愛病院	84名
30日	院内説明会 (血液製剤の遡及調査および医療機関における対応)	三木内科泌尿器科クリニック	20名
30日	院内説明会 (輸血用血液製剤の取り扱いと輸血検査について)	南札幌病院	40名
平成29年 12月 1日	院内説明会 (輸血用血液製剤の取り扱いと輸血副作用)	美しが丘整形外科	15名
1日	院内説明会 (輸血手技の注意点と指針改定のポイント)	砂川市立病院	53名

開催日	名称	場所	参加者数
5日	院内説明会 (輸血過誤事例)	清田ウイメンズクリニック	11名
5日	院内説明会 (血液製剤の使用指針の改定ポイント)	小樽協会病院	52名
6日	輸血療法委員会 (遡及調査GLの改訂、輸血副作用・感染症調査方法の変更)	斜里町国保病院	12名
6日	院内説明会 (輸血用血液製剤の取り扱いと輸血副作用)	あしりべつ病院	46名
6日	院内説明会 (輸血の注意点)	北海道中央労災病院	6名
7日	院内説明会 (輸血副作用・血液製剤使用指針の改定)	柏葉脳神経外科病院	8名
7日	院内説明会 (輸血副作用・血液製剤の取り扱い)	札幌清田病院	36名
7日	院内説明会 (いまさら聞けない輸血の知識と指針について)	深川市立病院	49名
11日	院内説明会 (輸血用血液製剤の取り扱い、輸血副作用)	旭川圭泉会病院	39名
12日	輸血療法委員会 (遡及調査GLの改訂、輸血副作用・感染症調査方法の変更)	豊岡中央病院	7名
12日	院内説明会 (不規則抗体について知ろう)	木古内町国保病院	30名
12日	院内説明会 (輸血用血液製剤の取り扱いと輸血副作用・自己血輸血の注意点)	西岡第一病院	46名
13日	院内説明会 (血液製剤の取り扱い方)	豊浦町国保病院	14名
14日	院内説明会 (輸血用血液製剤の取り扱いと輸血副作用)	浦河赤十字病院	74名
14日	院内説明会 (輸血用血液製剤の取り扱い、輸血副作用)	置戸赤十字病院	42名
14日	院内説明会 (安全な輸血医療のために～過誤事例と最近の話題)	石橋胃腸病院	58名
15日	院内説明会 (血液製剤の取り扱い方)	函館協会病院	120名

開催日	名称	場所	参加者数
18日	輸血療法委員会 (輸血情報154、155、血小板製剤による大腸菌感染の事例)	旭川赤十字病院	13名
18日	輸血療法委員会 (遡及調査GLの改訂)	函館市立病院	14名
18日	院内説明会 (交差試験陽性時の考え方)	函館おおむら整形外科病院	9名
19日	輸血療法委員会 (細菌汚染事例)	勤医協中央病院	9名
19日	院内説明会 (輸血用血液製剤の取り扱いと輸血副作用)	ていね泌尿器科	8名
19日	院内説明会 (輸血用血液製剤の取り扱いと輸血副作用)	ていね泌尿器科	16名
20日	輸血療法委員会 (輸血副作用の検査方法変更、血小板製剤による大腸菌感染の事例)	旭川医科大学病院	21名
20日	輸血療法委員会 (輸血副作用・感染症における調査方法変更)	室蘭市立総合病院	10名
21日	輸血療法委員会 (輸血副作用・感染症における調査方法の変更、ヘモビジュランス年報2016)	函館赤十字病院	5名
平成30年 1月 9日	輸血療法委員会 (血小板製剤による細菌感染、輸血副作用・感染症における調査方法変更)	道立江差病院	4名
12日	集合型研修会<輸血検査の寺子屋> (日常輸血検査で遭遇する困った事例集 2017年版)	旭川赤十字病院	15名
16日	輸血療法委員会 (血小板製剤による細菌感染)	勤医協中央病院	6名
17日	院内説明会 (きちんと知ろう輸血の事)	千歳桂病院	28名
19日	輸血療法委員会 (血小板製剤による細菌感染)	北見赤十字病院	7名
22日	輸血療法委員会 (血小板製剤による細菌感染)	旭川医療センター	10名
24日	輸血療法委員会 (血小板製剤による細菌感染)	札幌北楡病院	12名
26日	院内説明会 (輸血用血液製剤の取り扱い、輸血副作用)	唐沢病院	29名
29日	輸血療法委員会 (血小板製剤による細菌感染)	旭川厚生病院	14名
30日	輸血療法委員会 (血小板製剤による細菌感染)	網走厚生病院	9名
30日	院内説明会 (輸血用血液製剤の取り扱い、輸血副作用、輸血検査、透析患者への注意事項)	手稲いなづみ病院	31名
31日	院内説明会 (輸血用血液製剤の取り扱いと輸血副作用)	手稲病院	48名

開催日	名称	場所	参加者数
平成30年 2月 6日	院内説明会 (輸血用血液製剤の取り扱いと輸血副作用)	平取町国保病院	56名
6日	院内説明会 (輸血手技・取り扱いの注意点)	深川第一病院	19名
7日	輸血療法委員会 (PCでの細菌感染事例について。HEV感染事例について。)	斜里町国保病院	9名
7日	輸血療法委員会 (PC大腸菌感染事例について、HEV感染事例について)	留萌市立病院	11名
8日	輸血療法委員会 (PC大腸菌感染事例について。HEV感染事例について)	稚内市立病院	7名
9日	院内説明会 (輸血療法の基本)	函館中央病院	16名
13日	輸血療法委員会 (PCでの細菌感染事例について。HEV感染事例について。)	豊岡中央病院	7名
14日	院内説明会 (不規則抗体を知ろう)	函館新都市病院	39名
14日	院内説明会 (きちんと知ろう輸血のこと)	札幌西円山病院	27名
15日	輸血療法委員会 (PCでの細菌感染事例について)	函館赤十字病院	5名
15日	院内説明会 (きちんと知ろう輸血のこと)	札幌共立五輪橋病院	131名
19日	輸血療法委員会 (HEV輸血感染事例について)	旭川赤十字病院	13名
19日	院内説明会 (血液製剤について)	釧路市立総合病院	25名
20日	輸血療法委員会 (HEV感染事例について)	勤医協中央病院	8名
21日	輸血療法委員会 (HEVについて)	旭川医科大学病院	22名
21日	輸血療法委員会 (PCでの細菌感染事例について)	室蘭市立総合病院	9名
22日	院内説明会 (輸血用血液製剤の取り扱いと輸血副作用について)	三ツ山病院	13名

開催日	名称	場所	参加者数
	27日 院内説明会 (輸血用血液製剤の取り扱いと輸血副作用について)	西さっぽろ病院	15名
	27日 実技研修会 (簡易合成血実技研修)	函館中央病院	4名
	28日 院内説明会 (輸血用血液製剤の取り扱いと輸血副作用)	千歳第一病院	42名
	28日 院内説明会 (抗原抗体反応、血液型検査、不規則抗体、交差適合試験について)	札幌清田整形外科病院	45名
平成30年 3月	2日 院内説明会 (輸血用血液製剤の取り扱いと輸血副作用)	さっぽろ二十四軒病院	37名
	2日 院内説明会 (血液製剤の取り扱い方および輸血による細菌感染について)	今金町国保病院	28名
	6日 輸血療法委員会 (輸血情報1803-157)	道立江差病院	6名
	7日 院内説明会 (輸血用血液製剤の取り扱いと輸血副作用)	向陽台病院	19名
	9日 院内説明会 (血液製剤の取り扱い方および細菌感染について)	えんどう桔梗マタニティクリニック	14名
	13日 院内説明会 (TRALIの評価・調査結果について HEV感染について)	市立旭川病院	10名
	13日 院内説明会 (輸血用血液製剤の取り扱いと輸血副作用)	札幌秀友会病院①	17名
	13日 院内説明会 (輸血用血液製剤の取り扱いと輸血副作用)	札幌秀友会病院②	13名
	14日 院内説明会 (輸血用血液製剤の取り扱いと輸血検査)	江別谷藤病院	72名
	14日 院内説明会 (血液製剤の取り扱い方および細菌感染について)	市立函館南茅部病院	14名
	15日 輸血療法委員会 (輸血情報1803-157)	函館赤十字病院	5名
	16日 院内説明会 (輸血過誤と輸血副作用)	石狩病院	67名
	20日 輸血療法委員会 (輸血情報1803-157、158)	勤医協中央病院	11名
	27日 院内説明会 (輸血用血液製剤の取り扱いと副作用)	日高町立門別国保病院	75名
	28日 輸血療法委員会 (輸血情報1803-157、158)	札幌北楡病院	9名
	28日 院内説明会 (安全な輸血に向けた輸血用血液製剤の取り扱い)	小樽掖済会病院	34名
	29日 院内説明会 (PEGクームス法による不規則抗体検査実技講習)	えにわ病院	6名

(3) 配布資料

Distributed Materials

名 称	時 期
輸血用血液製剤の取り扱いについて(ポスター)(2017年3月改訂版)	平成29年 4月
輸血用血液製剤の取り扱いマニュアル(2017年4月改訂版)	4月
輸血用血液製剤添付文書集<2017年4月現在>	4月
輸血情報 1705-153 【「血液製剤の使用指針」の改定について】	8月
輸血情報 1707-154 【輸血用血液製剤との関連性が高いと考えられた感染症症例-2016年-】	8月
輸血情報 1707-155 【赤十字血液センターに報告された非溶血性輸血副作用-2016年-】	8月
輸血用血液製剤一覧(2017年5月現在)	8月
『輸血用血液等の遡及調査に関するガイドライン』(日赤 GL)の改訂について	11月
輸血副作用・感染症における調査方法の変更のお知らせ	11月
『Haemovigilance by JRCs 2016』の日本赤十字社ホームページ掲載案内	11月
輸血情報 1712-156 【血小板製剤による細菌感染にご注意ください】	平成30年 1月